

# 「言語文化」シラバス

学科	商業科	学年	1年	類型		組	5組	単位数	2
使用教科書	新編言語文化（東京書籍）								
副教材等	新明説総合古典文法（尚文出版）、精選漢文（尚文出版）								

## 1 学習の到達目標

<p>① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深める。</p> <p>② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>③ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

## 2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	(1)(2)(3)(4) (5)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値観への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けているか。	(1)(2)(3)(4)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	発問に対する回答内容(1)、グループワーク等での対話への取組(2)	
課題の提出	ワークシート(3)、プリント等の提出内容(4)	
ノート・訂正ノート提出	定期考査ごとの提出(5)	
ペーパーテスト	定期考査(6)、小テスト(7)	

### 3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	現代文編 1 随想 さくらさくらさくら  古文編 1 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝  漢文編 1 漢文入門 訓読の基本 故事成語 現代文編 2 小説 1 とんかつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。</li> <li>それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取る。</li> <li>歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。</li> <li>漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、漢文の読解に慣れ親しむ。</li> <li>会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。</li> </ul>	(3)(4)  (2)(3) (4)  (3)(4)  (3)(4)
二 学 期	古文編 2 随筆 徒然草 現代文編 3 詩歌 柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】  漢文編 2 漢詩 絶句と律詩  現代文編 4 小説 2 羅生門  古文編 3 詩歌 折々のうた  古文編 4 物語 伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>短歌独自の特徴と表現効果を理解し、情景や心情を読み取る。</li> <li>俳句独自の特徴と表現効果を理解し、創造力を働かせて句の主題を読み取る。</li> <li>漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本に与えた影響について知る。</li> <li>極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。</li> <li>詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</li> <li>歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	(3)(4)  (2)(3) (4)  (2)(3) (4)  (2)(3) (4)
三 学 期	現代文編 5 小説 3 デューク  漢文編 3 論語 論語	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。</li> <li>孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方屋考え方を豊かにする。</li> </ul>	(3)(4)  (2)(3) (4)

備考